

## 多賀城高校 “津波波高標識設置”

津波波高標識とは、宮城県多賀城高校が設置している、3.11の津波の高さを記録した標識です。

具体的には、多賀城高校の有志の生徒が多賀城市内の被災地域に設置したもので、2012年から始まり現在までに約150ヵ所設置されています。

この活動をはじめた当初は、住民の方々の理解を得るため、津波浸水区域の自治区長の方々に活動の趣旨を伝えるための説明会を行ったそうです。自治区長の方々は、「津波の事を思い出すのはつらいが、高校生が未来に向け伝えていくのであれば応援したい」と理解を示してくださったそうです。

今年の夏も波高標識の設置を行いました。この活動は、津波が来たことを風化させないためにも大切なことであると思うので、これからも続けていくことが大切であると考えています。

